

平成26年度  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科  
博士課程（前期課程）  
高度専門職業人養成コース  
学生募集要項  
[第1期試験]

人間の教育と発達の研究者・専門家をめざし、高度の知力と旺盛な熱意をもって教育発達科学の発展に寄与しようとする人を求めています。

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

入試情報ホームページ

(名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部)

URL <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

◇連絡窓口

文系教務課(教育学部グループ)

TEL 052-789-2606

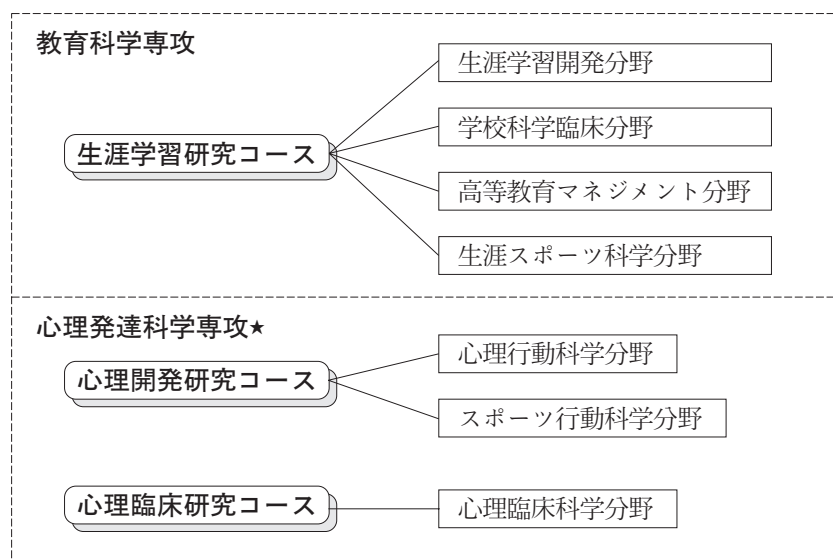
# 平成26年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 博士課程（前期課程） 高度専門職業人養成コース 学生募集要項 [第1期試験]

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程（前期課程）教育科学専攻高度専門職業人養成コースに平成26年度に入学する学生を次により募集する。

## 1. 本研究科博士課程（前期課程）高度専門職業人養成コースの概要

本コースは、一定の職業経験や社会的活動の経験を有する者に対して高度な専門的、実践的職業教育やリフレッシュ教育の機会を提供しようとするものであり、主として教育諸科学を生涯学習施設、大学を含む学校、国際協力関連施設及び企業等での課題に生かそうとする者、心理学を企業等（官公庁・公共企業体・教育諸機関を含む）の活動や組織内での問題解決に役立てようとする者、臨床心理士等の専門的な資格を得ようとする者を主たる対象とする。心理臨床研究コースは、(財)日本臨床心理士資格認定協会の大学院指定制度1種に指定されたコースである。

修了者には、修士（教育）、修士（心理学）又は修士（臨床心理学）の学位（Master of Arts）を授与する。



★第1期のみ募集を行ない、第2期においては募集を行わない。

## 2. 出願資格

出願できる者は、次の各号の一に該当する者で、かつ、各コース毎に定める条件を満たすものとする。

次の各号の一に該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成26年3月末日までに卒業見込みの者（大学とは、我が国の学校教育法第83条に定める大学（修業年限が4年以上の大学）をいう。）
- ② 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月末日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成26年3月末日までに修了見込みの者
- ⑤ 学校教育法第104条第4項第1号の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成26年3月までに授与される見込みの者

⑥ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者

⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月末日までに22歳に達する者

注1) 出願資格③または④により出願する者は、出願資格の有無について事前審査を受けることが望ましい。この事前審査を受ける者は、7頁を参照し、必要書類を平成25年7月31日(木)までに本研究科へ提出又は同日必着で郵送すること。この手続を経ないで出願した場合、受理後に出願資格無しと判定される場合があるので注意すること。なお、中国の大学卒業者は、7頁の注)を参照のこと。

注2) 出願資格⑧により出願する者は、8頁を参照し平成25年7月31日(木)までに名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当あてに必着で必要書類を提出すること。なお、中国の大学卒業者は、8頁の注)を参照のこと。

### 各コースの出願条件

- ① 生涯学習研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有する者
- ② 心理開発研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系もしくは体育学系の学部・学科・専攻を卒業した者もしくは平成26年3月末日までに卒業見込みの者、またはこれと同程度の専門知識を有する者
- ③ 心理臨床研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系の学部・学科・専攻を卒業した者及び卒業見込の者で、心理学系科目の単位を出願時に20単位以上取得した者  
このコースは、一般募集の心理臨床科学領域の学生と共通の履修課程を原則とする。

### 3. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
<b>教育科学専攻</b> 生涯学習研究コース (生涯学習開発, 学校科学臨床, 高等教育マネジメント, 生涯スポーツ科学)	各分野若干名
<b>心理発達科学専攻</b> 心理開発研究コース (心理行動科学, スポーツ行動科学)	若干名
心理臨床研究コース (心理臨床科学)	若干名

### 4. 出願書類および入学検定料

(1) 入学志願票・写真票・受験票 [様式1]

(2) 卒業(見込)証明書

卒業(見込)大学等発行の証明書を提出すること。なお、海外の大学等を卒業した者は、日本の学士に相当する学位を取得したことを証明するものを提出すること。

ただし、名古屋大学教育学部卒業生及び卒業見込の者は提出を要しない。

出願資格⑤により出願する者は、学位取得(見込)証明書を提出すること。

なお、中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心(CDGDC)』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科(登録コード:C900802)へ認証書(卒業証明書及び学位証明書)が直接送付されるように必ず手続きすること。認証書は、願書受付期間内に(ただし事前審

査（7頁参照）を受ける者については平成25年7月31日(木)までに）、本研究科に到着したもののみを受理する。認証書は、必ず「英文」で発行してもらうこと（英文以外は、受理しない）。また、出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細については、CDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの卒業（見込）証明書の提出を要しない。

(3) これまでの研究テーマとその成果の概要 [様式2]

生涯学習研究コースを志望する者のみ、約2,000字で記述し、4部提出すること。複写可。

(4) 研究・学修計画 [様式3]

(ア) 生涯学習研究コース

本研究科での研究・学修計画を、約2,000字で記述し、4部提出すること。複写可。なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各4部提出するものとする。複写可。

(イ) 心理開発研究コース／心理臨床研究コース

希望するコースにおける入学後の研究・学修計画（応募の動機、主として学修・研究したい内容、学修内容を修了後どのように活かしたいか、等）を、約2,000字で記述し、9部提出すること（英文での提出も可能。ただし、約1,600単語で記述すること）。

なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各9部提出するものとする。複写可。

(5) 職務および社会的活動説明書 [様式4]

生涯学習研究コースにあっては4部提出すること。心理開発研究コース及び心理臨床研究コースにあっては9部提出すること（英文可）。

(6) 成績証明書

心理臨床研究コース志願者のみ、卒業（見込）大学等発行の証明書を提出すること。ただし、名古屋大学教育学部卒業者及び卒業見込の者は提出を要しない。

なお、中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科（登録コード：C900802）へ認証書（成績証明書）が直接送付されるように必ず手続きをすること。認証書は、願書受付期間内に（ただし事前審査（7頁参照）を受ける者については平成25年7月31日(木)までに）、本研究科に到着したもののみを受理する。認証書は、必ず「英文」で発行してもらうこと（英文以外は、受理しない）。また、出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細については、CDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの成績証明書の提出を要しない。

(7) 領収証書・領収証書（控） [様式5]

氏名欄（2箇所）に出願者の氏名を記入すること。

(8) 返信用封筒

長形3号封筒〈23.5cm×12cm〉に、宛先に出願者の住所・氏名を記入し360円切手を貼ること。

(9) 連絡用シール

連絡用シールに本人の住所・氏名を記入すること。

(10) 入学検定料30,000円（必ず郵便局で30,000円の普通為替を作成し、受取人指定欄等一切記入しないこと。）

\* 国費留学生の場合「国費外国人留学生証明書」をもって入学検定料に代える。

備考

- ・日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者は除く）は、出願時には外国人登録原票記載事項証明書の提出は要しないが、試験時にパスポートの提示を求める。

## 5. 願書受付期間

平成25年8月19日(月)～平成25年8月23日(金)

受付時間 9時～12時及び13時～16時

郵送する場合は、封筒の表に「大学院教育発達科学研究科高度専門職業人養成コース入学願書在中」と朱書し、必ず書留郵便とし、期間内（平成25年8月23日(金)16時まで）に必着のこと。期間後到着分は受理しないので注意すること。

出願書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

出願上の注意事項

- ① 本研究科が受理した出願書類を、受理後に訂正することは認めない。
- ② 理由のいかんにかかわらず、出願書類及び入学検定料は返還しない。  
なお、受験票の発送は、9月13日(金)頃を予定している。

## 6. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は出願書類による出願資格等の審査及び学力試験により行う。
- (2) 学力試験は筆記及び口述により行う。とくに指示がある場合を除き、日本語により解答するものとする。
- (3) 学力試験の科目及び実施方法

### ① 生涯学習研究コースの学力試験

(ア) 期日・時間割

期 日	時 間	学力試験の科目
平成25年9月24日(火)	9:00～10:30	外国語
	11:30～	口述試験
平成25年9月25日(水) (予備日)	9:00～	口述試験

口述試験の日程表は、平成25年9月24日(火)10:30頃に本研究科玄関に掲示する。

(イ) 学力試験の科目

(a) 外国語

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、日本語のうちから受験者が選択した自国語以外の1か国語について、一般教養的語学力及び教育科学に関連する語学力を筆記により試験する。なお、辞書持ち込み（冊子体の1冊に限る。「英和・和英辞典」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を可とする。

(b) 口述試験

これまでの研究成果、研究・学修計画を含む研究事項、職務及び社会的活動、及び研究・学修計画の遂行に必要なとなる学力について行う。

(ウ) 受験上の注意事項

- (a) 口述試験では様式2、様式3及び様式4の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。
- (b) 外国語を受験しなかった者は、口述試験を受験できない。また、口述試験では15分以上の遅刻者は、当該試験を受験できない。
- (c) 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- (d) 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (e) 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

## ② 心理開発研究コース／心理臨床研究コースの学力試験

### (ア) 期日・時間割

期 日	時 間	学力試験の科目
平成25年 9月24日(火)	9 : 00 ~ 10 : 30	英 語
	11 : 00 ~ 13 : 00	心 理 発 達 科 学 ス ポ ー ツ 行 動 科 学
平成25年 9月25日(水)・26日(木)	9 : 00(予定)~	口 述 試 験

第1次の合否判定結果及び口述試験の時刻表は、平成25年9月25日(水)8:45頃に本研究科玄関に掲示する。

### (イ) 学力試験の科目

#### (a) 専門科目

心理開発研究コースの心理行動科学分野または心理臨床研究コースを志望する者は、心理発達科学を、心理開発研究コースのスポーツ行動科学分野を志望する者はスポーツ行動科学を選択する。

・心理発達科学：計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学，パーソナリティ心理学，社会心理学，生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学，学校心理学，発達精神科学について出題する。

心理開発研究コースの心理行動科学分野を志望する者は、心理行動科学領域（計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学，パーソナリティ心理学，社会心理学）に関する問題3問と、心理臨床科学領域（生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学，学校心理学，発達精神科学）に関する問題2問中1問の、計4問を解答すること。これにより、心理行動科学における研究に必要な能力について試験をする。

心理臨床研究コースを志望する者は、心理臨床科学領域（生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学，学校心理学，発達精神科学）に関する問題2問と、心理行動科学領域（計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学，パーソナリティ心理学，社会心理学）に関する問題3問中2問の、計4問を解答すること。これにより、心理臨床科学における研究に必要な能力について試験をする。

・スポーツ行動科学：スポーツ心理学，運動学習科学について出題する。これにより、スポーツ行動科学における必要な能力について試験をする。

#### (b) 外国語

・外国語試験は、英語とし、辞書の使用（冊子体の語学辞書1冊に限る。「英和・和英」等，2冊分の機能のあるものは認めない。）を可とする。

心理行動科学分野・心理臨床科学分野及びスポーツ行動科学分野の3分野にかかわる英語力について試験する。

#### (c) 口述試験

・口述試験は、主として研究・学修計画について行う。

### (ウ) 学力試験の特例について

心理開発研究コース／心理臨床研究コースを志望する受験者が、以下のいずれかに該当する場合は、筆記試験（専門科目）においても冊子体の語学辞書1冊（「英和・和英」等，2冊分の機能のあるものは認めない。）を使用することを認める。ただし、口述試験での辞書の使用は認めない。

① 日本国以外の国籍を有する者であって、日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。

② 日本国の国籍を有する者であって、学歴等から日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められるもの。

この特例により受験することを希望する者は、出願の際に様式11により申請すること。特例により受験することの可否について審査し、その結果は受験票発送時に同封する。

### (エ) 受験上の注意事項

(a) 口述試験では様式3及び様式4の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。

(b) 専門科目又は外国語のいずれか1つでも受験しなかった者は、口述試験を受験できない。

- (c) 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- (d) 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (e) 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

#### (4) 試験実施場所

試験は名古屋大学大学院教育発達科学研究科において実施する。詳細は、試験当日、本研究科玄関に掲示する。

### 7. 合格者発表

平成25年9月27日(金)17:00頃、本研究科玄関に掲示するとともに、後日郵送により受験者に通知する。(なお、受験者の便宜を考慮し、玄関掲示以降、次のページにも掲示する予定であるが、あくまで、本研究科玄関の掲示と郵送による通知を正式な合格者発表とする。http://educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/)

### 8. 入学手続

平成26年2月下旬頃、郵送により合格者に通知する。

### 9. 学生納入金

入学金 282,000円(予定額)

授業料(年額) 535,800円(予定額)

〈注〉

- ① 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行なわれた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。
- ② 入学手続時に入学金(282,000円)を納入しなければならない。
- ③ 授業料の納入については、別途通知する。

### 10. その他

- (1) (特別な配慮を要する受験者) 障害がある者で、学力試験の受験または入学後の就学に特別な配慮が必要なものは、平成25年7月31日(木)までに、本研究科に照会すること。
- (2) (個人情報の取り扱い) 出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。
- (3) (出願書類等の入手方法) 出願書類等は名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当で入手することができる。出願書類等の郵送を請求する場合は、志望するコース(「博士課程」(前期課程)生涯学習研究コース、「博士課程(前期課程)心理開発研究コース」、「博士課程(前期課程)心理臨床研究コース」)の別を明記した書状と、出願書類等の郵送先の住所・氏名を記し、かつ390円分の切手を貼付した角形2号封筒を同封すること。

平成25年5月

## 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-2606・2607



## 出願資格③または④により出願する者の事前審査について

### 1. 事前審査

出願資格③または④により出願する者は、出願資格の有無について事前審査を受けることが望ましい。この事前審査を受ける者は、次の書類を平成25年7月31日（水）までに本研究科へ提出又は同日必着で郵送（書留便で封筒の表に「出願資格③の事前審査願」または「出願資格④の事前審査願」と朱書）すること。

- ① 事前審査願 [様式 6]
- ② 履歴書 [様式 8]
- ③ 修了証明書または修了見込み証明書及び学位記または学士学位を取得したことを証明するもの（原文と日本語訳または英語訳）（中国の大学卒業者は 注）参照
- ④ 成績証明書（中国の大学卒業者は 注）参照
- ⑤ 返信用封筒（住所・氏名を明記した長形 3 号（23.5cm×12cm）のもの（80円分の切手貼付））

注）中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科（登録コード：C900802）へ認証書（卒業証明書、学位証明書及び成績証明書）が直接送付されるように必ず手続きをすること。認証書は、平成25年7月31日(水)までに本研究科に到着したもののみを受理する。認証書は、必ず「英文」で発行してもらうこと（英文以外は、受理しない）。また、出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細については、CDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの卒業（見込）証明書及び成績証明書の提出を要しない。

本研究科で事前審査を実施し、その結果は平成25年8月9日（金）までに本人宛通知する。

### 2. 事前審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に提出すること。

なお、事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておくこと。

## 出願資格⑧により出願する者の個別審査について

### 1. 個別審査

出願資格⑧により出願する者は、あらかじめ次の書類を平成25年7月31日（水）までに、本研究科へ提出又は同日必着で郵送し（書留便で封筒の表に「出願資格⑧個別審査願」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けること。

- ① 個別審査願 [様式7]
- ② 履歴書 [様式8]
- ③ 研究実績調書 [様式9]
- ④ 研究内容説明書 [様式10]
- ⑤ 成績証明書（高校卒業の者は、それ以降のものをすべて提出すること）及びシラバス（中国の大学卒業者は 注）参照）
- ⑥ 返信用封筒（住所・氏名を明記した長形3号（23.5cm×12cm）のもの（80円分の切手貼付））

注）中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科（登録コード：C900802）へ認証書（卒業証明書、学位証明書及び成績証明書）が直接送付されるように必ず手続きをすること。認証書は、平成25年7月31日(水)までに本研究科に到着したのもののみを受理する。認証書は、必ず「英文」で発行してもらうこと（英文以外は、受理しない）。また、出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細については、CDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの成績証明書の提出を要しない。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は平成25年8月9日（金）までに本人宛通知する。

### 2. 個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に提出すること。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておくこと。